

Ⅱ 調査結果

1. 身体障害者生活状況調査（18歳以上）結果

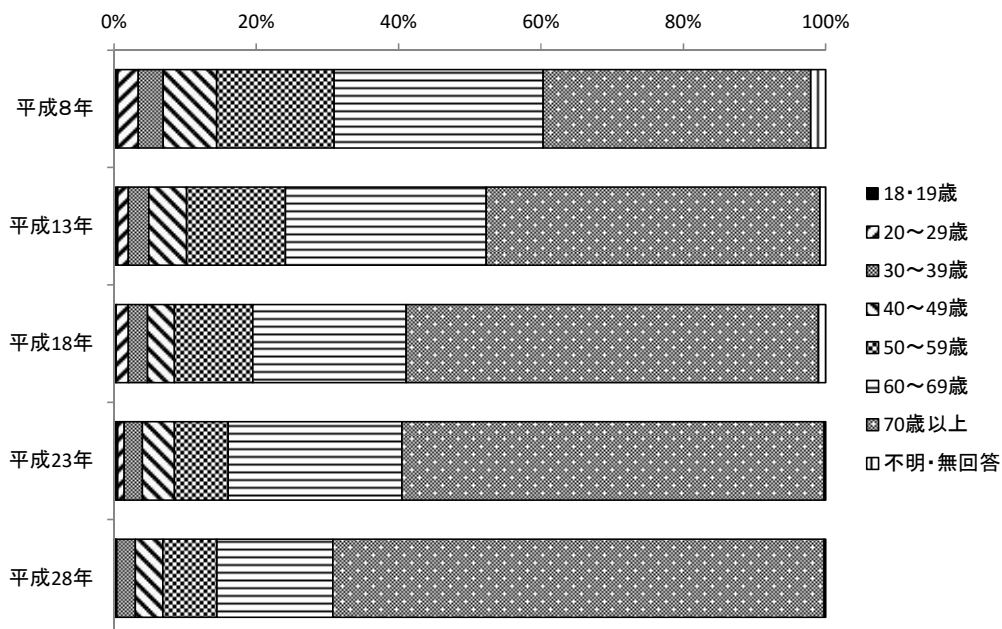
●年齢等

年齢構成は、「70歳以上」が全体の69.1%を占めている。経年的には、「70歳以上」の比率が増加傾向にあり、身体障害者の高齢化がますます進んでいる状況がうかがえる。

問1 年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年		
18・19歳	0.5	0.5	0.3	0.5	0.2		
20～29歳	2.9	1.5	1.7	0.9	0.2		
30～39歳	3.5	2.9	2.7	2.6	2.6		
40～49歳	7.5	5.3	3.8	4.5	3.9		
50～59歳	16.5	13.9	11.0	7.5	7.6		
60～64歳	29.4	12.4	28.2	9.8	13.6	4.8	
65～69歳		15.8		11.7			21.5
70歳以上	37.6	46.9	57.9	59.3	69.1		
不明・無回答	2.1	0.8	1.0	0.2	0.2		
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
n	996	951	879	425	540		

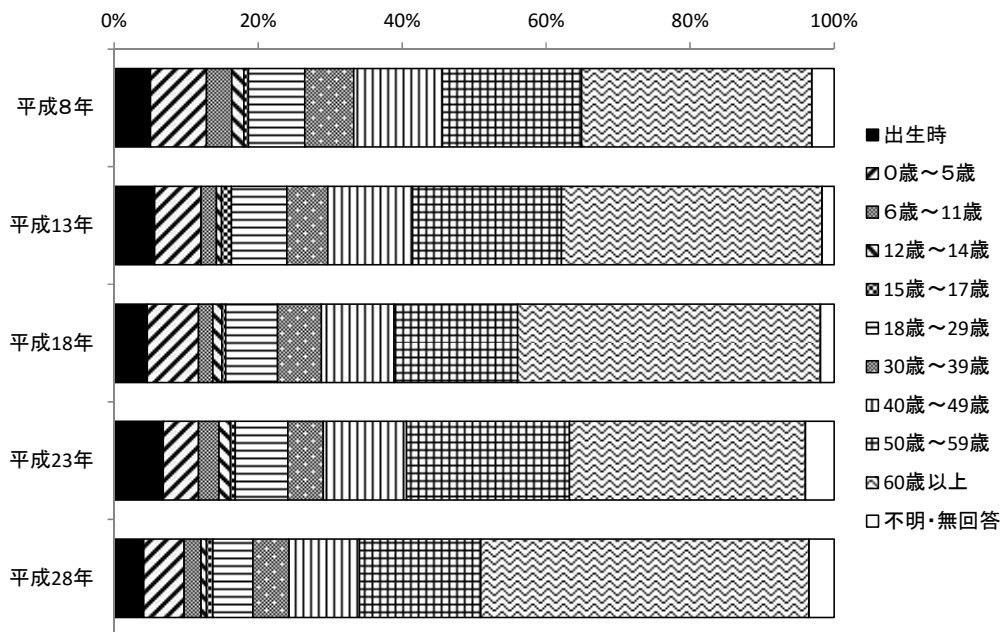


障害を受けた時期については、「60歳以上」が45.6%で最も多く、次いで「50～59歳」が16.9%、「40～49歳」が9.8%と続いている。

問10 障害を受けた時期

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
出生時	5.0	5.6	4.6	6.8	4.1
0歳～5歳	7.8	6.5	7.1	4.9	5.6
6歳～11歳	3.5	2.1	2.0	2.8	2.4
12歳～14歳	1.7	0.7	1.3	1.6	0.7
15歳～17歳	0.6	1.4	0.5	0.7	0.9
18歳～29歳	7.8	7.7	7.2	7.3	5.6
30歳～39歳	6.8	5.7	6.1	4.9	5.0
40歳～49歳	12.3	11.8	10.1	11.5	9.8
50歳～59歳	19.3	20.7	17.2	22.6	16.9
60歳以上	31.9	36.2	42.1	32.7	45.6
不明・無回答	3.1	1.7	1.9	4.0	3.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540



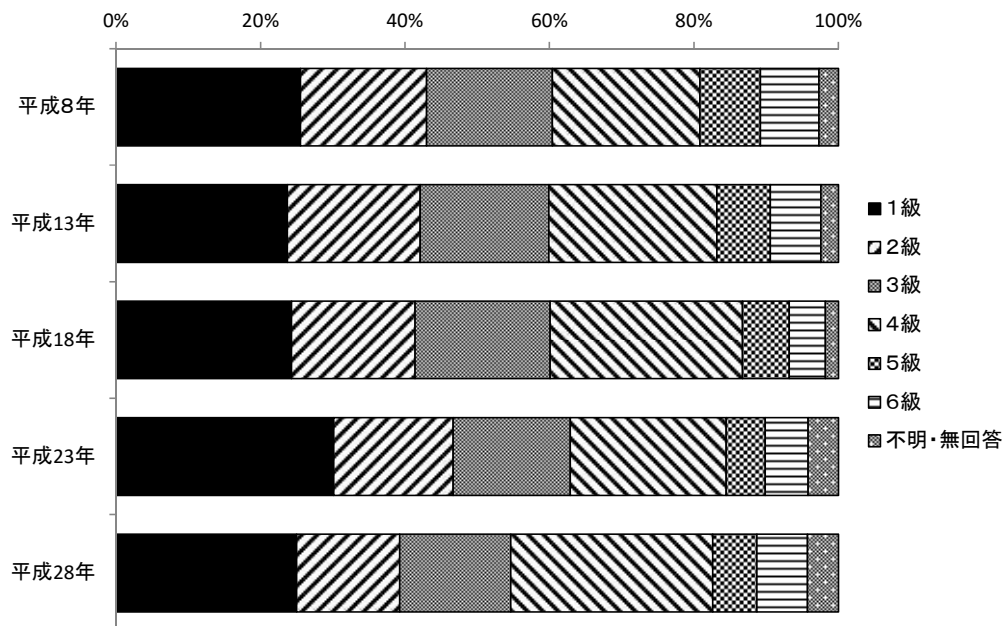
●障害の程度等

障害の程度は、「1級」が25.0%、「2級」が14.3%、「3級」が15.4%、「4級」が28.0%、「5級」が6.1%、「6級」が7.0%となっており、「1級」と「2級」を合わせると、39.3%を占めている。

問8 身体障害者手帳の等級

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1級	25.5	23.7	24.3	30.1	25.0
2級	17.5	18.4	17.1	16.5	14.3
3級	17.4	17.8	18.7	16.2	15.4
4級	20.4	23.3	26.6	21.6	28.0
5級	8.4	7.4	6.5	5.4	6.1
6級	8.1	7.0	5.0	5.9	7.0
不明・無回答	2.7	2.4	1.8	4.2	4.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540



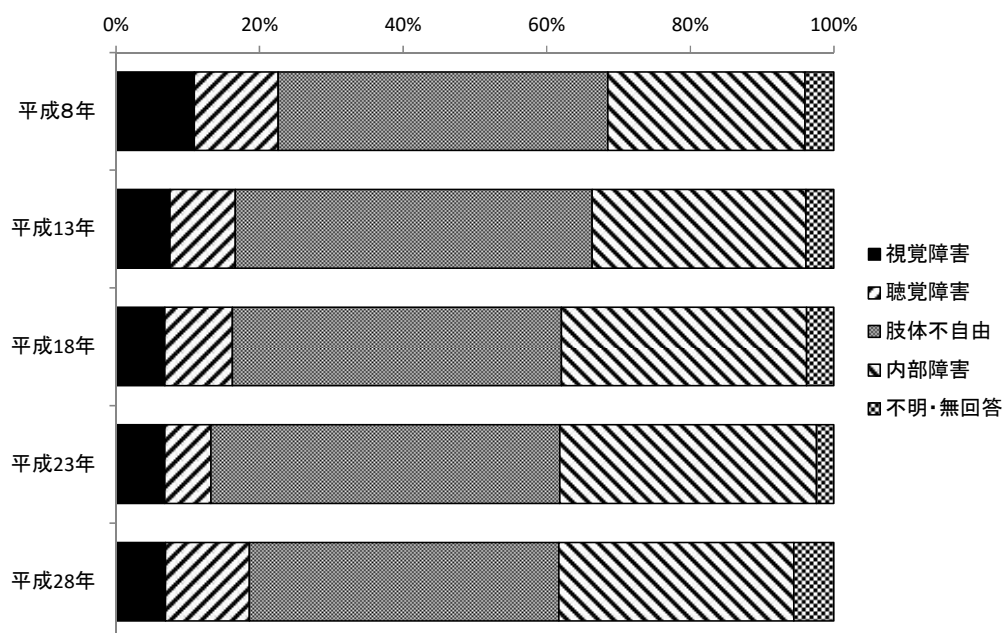
障害の種類では、「肢体不自由」が43.2%で最も多く、次いで「内部障害」が32.8%、「聴覚障害」が11.7%、「視覚障害」が6.9%と続いている。

問6 障害の種類

(単位：%)

障害の種類	主な障害	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年					
視覚障害	視覚	10.9	10.9	7.5	7.5	6.8	6.8	6.8	6.8	6.9	6.9
聴覚障害	聴覚・言語(ろうあ)	3.6	11.7	3.6	9.1	3.8	9.4	1.4	6.4	4.6	11.7
	聴覚・平衡	6.6		4.4		4.9		3.8		5.4	
	音声・言語・そしゃく	1.5		1.1		0.7		1.2		1.7	
肢体不自由	片上肢	4.8	45.9	6.0	49.7	3.4	45.9	4.2	48.6	3.5	43.2
	両上肢	1.6		1.6		1.7		1.4		2.6	
	片下肢	10.1		9.8		10.8		11.5		9.6	
	両下肢	9.5		9.4		11.0		12.0		14.3	
	片上下肢	9.1		9.4		6.0		6.1		5.4	
	四肢	7.3		9.3		9.1		9.6		5.2	
	体幹・脳原性運動	3.5		4.2		3.9		3.8		2.6	
	不明・無回答	4.0		3.9		3.8		2.4		5.6	
内部障害	心臓	15.3	27.5	19.3	29.8	22.9	34.2	25.9	35.8	22.4	32.8
じん臓	5.3	5.2		4.8		4.5		4.6			
呼吸器	2.8	3.5		2.3		1.4		1.1			
ぼうこう・直腸	4.1	1.7		4.0		4.0		4.3			
小腸	0.0	0.1		0.2		0.0		0.2			
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	-	0.0		0.0		0.0		0.2			
肝臓*	-	-		-		0.0		0.0			
不明・無回答	4.0	3.9		3.8		2.4		5.6			
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
n		996	951	879	425	540					

* 平成23年追加項目

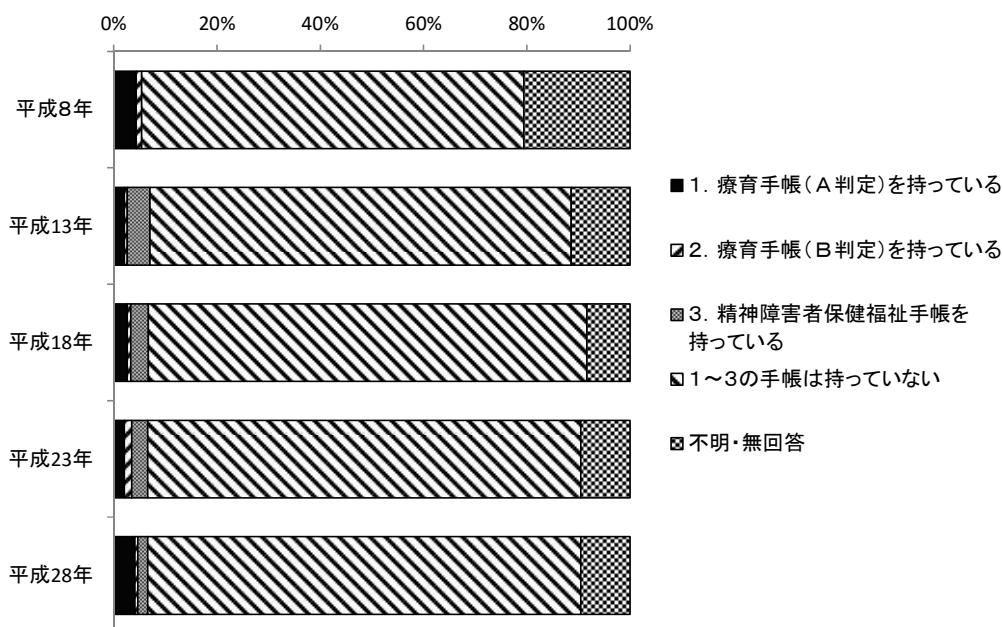


療育手帳等の有無については、「1～3の手帳は持っていない」が83.9%と最も多くなっている。“療育手帳（A判定）”保持者は4.1%，“療育手帳（B判定）”保持者が0.6%，“精神障害者保健福祉手帳”保持者は1.9%となっている。

問 1 1 療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の有無

(単位：%)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
1. 療育手帳（A判定）を持っている	4.3	2.1	2.6	2.1	4.1
2. 療育手帳（B判定）を持っている	1.1	0.5	0.7	1.4	0.6
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	-	4.4	3.4	3.1	1.9
1～3の手帳は持っていない	74.0	81.6	84.9	83.8	83.9
不明・無回答	20.6	11.4	8.4	9.6	9.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540



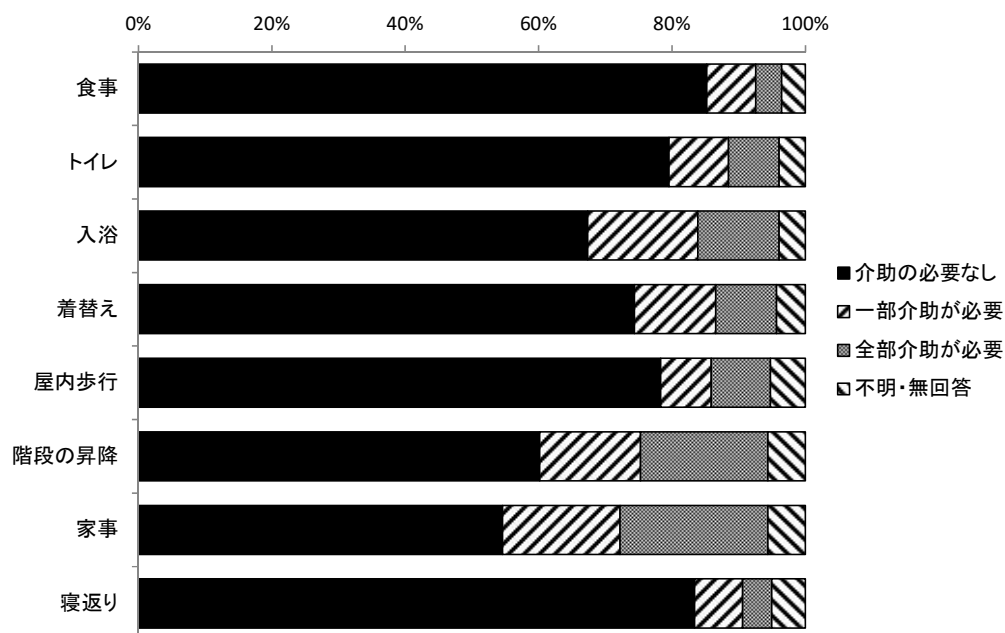
●生活の状況

日常生活動作（IADL）の中で“何らかの介助が必要”（一部介助が必要＋全部介助が必要）とする人の割合が高いものは、「家事」で39.8%、次いで、「階段の昇降」が34.3%、「入浴」が28.7%、「着替え」が21.3%、「トイレ」「屋内歩行」が16.5%などと続いている。

問 1 6 日常生活動作の状況

(単位：%)

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
介助の必要なし	85.2		79.6		67.4		74.4		78.3		60.2		54.6		83.3	
一部介助が必要	7.4	11.3	8.9	16.5	16.5	28.7	12.2	21.3	7.6	16.5	15.2	34.3	17.6	39.8	7.2	11.6
全部介助が必要	3.9		7.6		12.2		9.1		8.9		19.1		22.2		4.4	
不明・無回答	3.5		3.9		3.9		4.3		5.2		5.6		5.6		5.0	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	540		540		540		540		540		540		540		540	



主な介助者は、「夫または妻」が31.9%で最も多く、次いで「入所施設,グループホーム等の職員」が16.3%、「ホームヘルパー」が14.7%、「子ども」が13.5%と続いている。

問 17-1 主な介助者

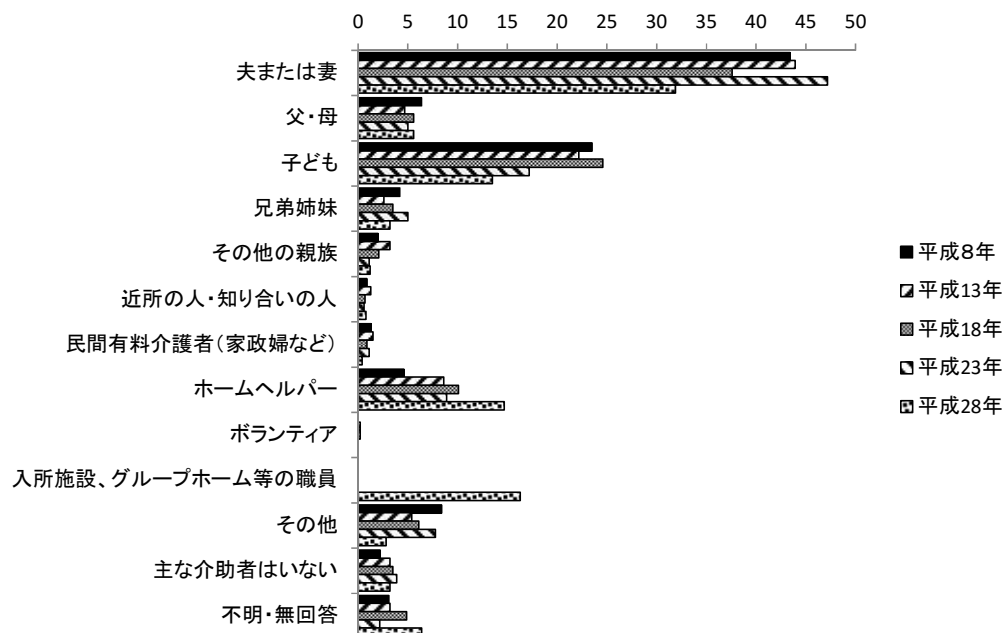
(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
夫または妻	43.4	43.9	37.6	47.2	31.9
父・母 *1	6.4	4.7	5.6	5.0	5.6
子ども	23.5	22.2	24.6	17.2	13.5
兄弟姉妹	4.2	2.6	3.5	5.0	3.2
その他の親族 *2	2.0	3.2	2.1	1.1	1.2
近所の人・知り合いの人	0.9	1.3	0.7	0.6	0.8
民間有料介護者(家政婦など)	1.3	1.5	0.9	1.1	0.4
ホームヘルパー	4.6	8.6	10.1	8.9	14.7
ボランティア	-	0.2	0.2	0.0	0.0
入所施設,グループホーム等の職員 *3	-	-	-	-	16.3
その他	8.4	5.4	6.1	7.8	2.8
主な介助者はいない	2.2	3.2	3.5	3.9	3.2
不明・無回答	3.1	3.2	4.9	2.2	6.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	452	465	426	180	251

*1 平成13年は「父」「母」を足した数値

*2 平成8年, 13年は「祖父母」と「その他の親族」を足した数値

*3 平成28年追加項目

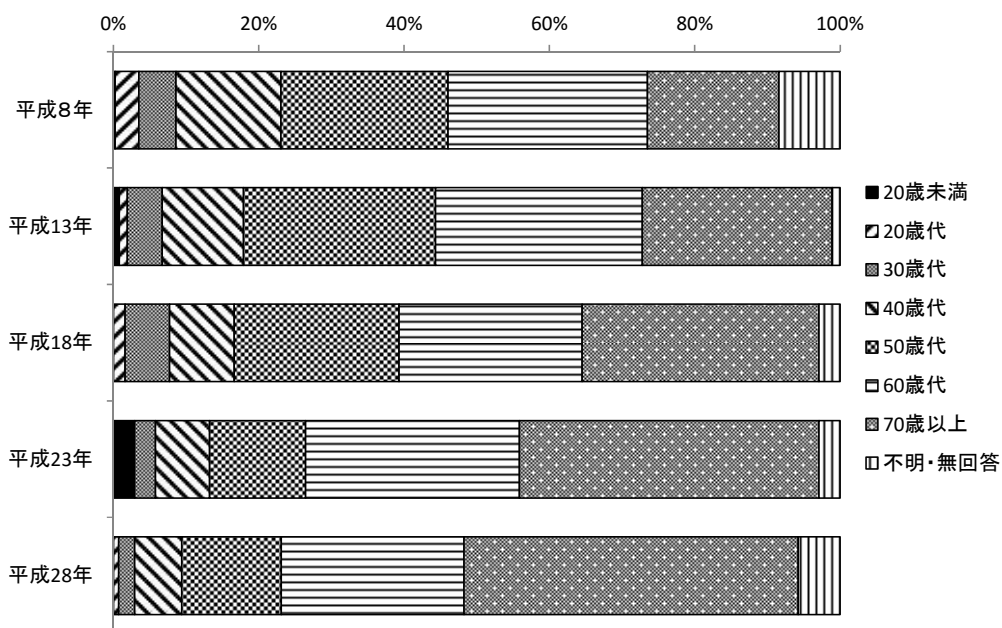


主な介助者の年齢は、「70歳以上」が46.0%、「60歳代」が25.2%、「50歳代」が13.7%となっている。60歳以上の比率は71.2%と前回調査同様7割に達しており、高齢の介助者が多いことが分かる。

問17-2-1 主な介助者の年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
20歳未満	0.2	0.8	0.0	2.9	0.0
20歳代	3.3	1.1	1.6	0.0	0.7
30歳代	5.1	4.8	6.1	2.9	2.2
40歳代	14.4	11.2	8.9	7.4	6.5
50歳代	23.0	26.4	22.7	13.2	13.7
60歳代	27.4	28.4	25.2	29.4	25.2
70歳以上	18.1	26.1	32.6	41.2	46.0
不明・無回答	8.4	1.1	2.9	2.9	5.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	452	356	313	136	139



●障害福祉等に関するサービスの利用状況

福祉サービスの利用状況については、ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）は、「必要がないので利用したことがない」が50.9%で最も高く、次いで「現在、利用している又は利用したことがある」が19.4%、「将来、必要になった時に利用したい」が12.4%となっている。

問18（1） ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）の利用状況

（単位：％）

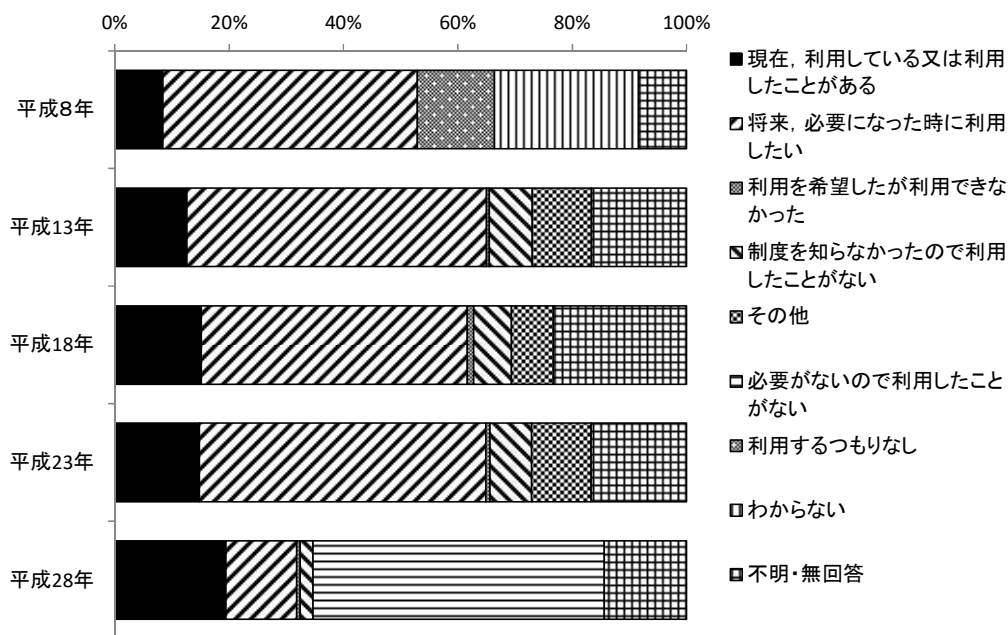
	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	8.4	12.6	15.1	14.8	19.4
将来、必要になった時に利用したい	44.5	52.4	46.5	50.1	12.4
利用を希望したが利用できなかった*1	—	0.5	1.1	0.7	0.6
制度を知らなかったので利用したことがない*1	—	7.5	6.6	7.3	2.2
その他*2	—	10.4	7.3	10.4	—
必要がないので利用したことがない*3	—	—	—	—	50.9
利用するつもりなし*4	13.5	—	—	—	—
わからない*4	25.2	—	—	—	—
不明・無回答	8.4	16.6	23.3	16.7	14.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	951	951	879	425	540

*1 平成13年以降追加項目

*2 平成8年、28年度は項目削除

*3 平成28年追加項目

*4 平成13年以降削除項目



短期入所（ショートステイ）は、「必要がないので利用したことがない」が50.9%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が11.7%、「現在利用している又は利用したことがある」が10.2%となっている。

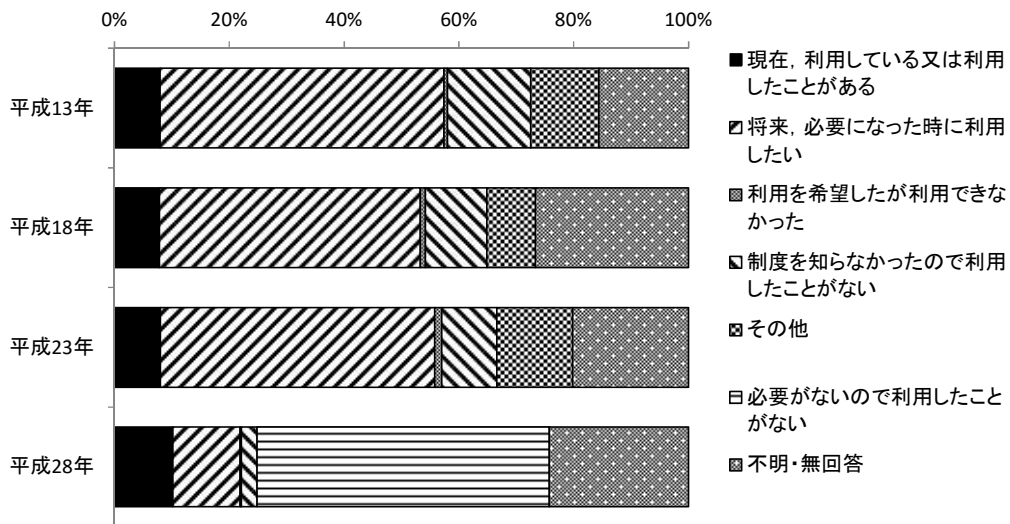
問18(2) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

(単位：%)

	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	7.9	7.8	8.0	10.2
将来、必要になった時に利用したい	49.5	45.4	47.8	11.7
利用を希望したが利用できなかった	0.6	0.9	1.2	0.2
制度を知らなかったので利用したことがない	14.5	10.7	9.6	2.8
その他*1	11.9	8.5	13.2	—
必要がないので利用したことがない*2	—	—	—	50.9
不明・無回答	15.6	26.6	20.2	24.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
n	951	879	425	540

*1 平成28年度は項目なし

*2 平成28年追加項目



生活介護は、「必要がないので利用したことがない」が50.4%で最も多く、次いで「現在、利用している又は利用したことがある」と「将来、必要になった時に利用したい」が同率の12.4%となっている。

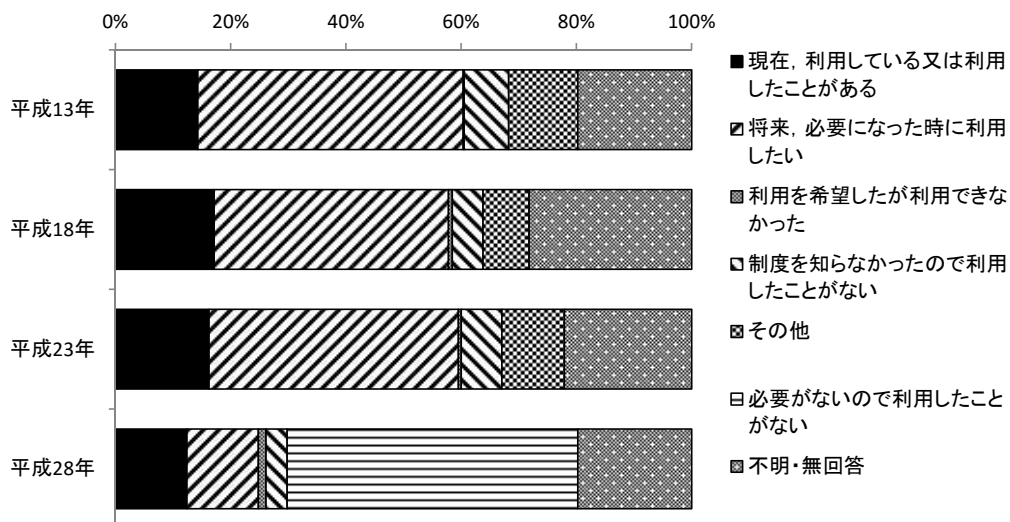
問18(3) 生活介護の利用状況

(単位：%)

	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	14.3	17.1	16.2	12.4
将来、必要になった時に利用したい	46.1	40.7	43.3	12.4
利用を希望したが利用できなかった	0.2	0.7	0.5	1.3
制度を知らなかったので利用したことがない	7.7	5.3	7.1	3.7
その他*1	12.0	8.0	10.8	—
必要がないので利用したことがない*2	—	—	—	50.4
不明・無回答	19.8	28.2	22.1	19.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
n	951	879	425	540

*1 平成28年度は項目なし

*2 平成28年追加項目

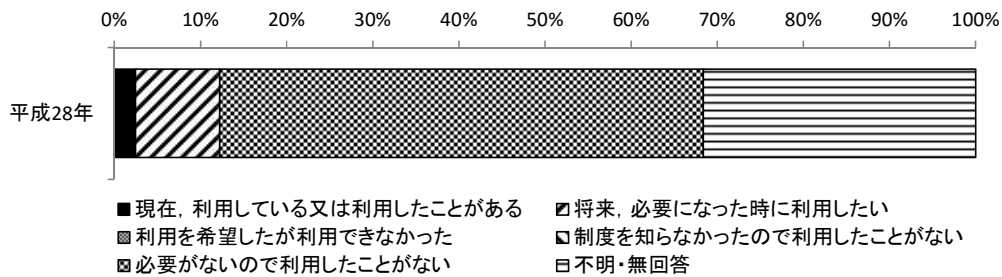


共同生活援助（グループホーム）は、「必要がないので利用したことがない」が55.2%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が9.6%となっている。

問18（10） 共同生活援助（グループホーム）の利用状況

（単位：％）

	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	2.4
将来、必要になった時に利用したい	9.6
利用を希望したが利用できなかった	0.0
制度を知らなかったので利用したことがない	1.7
必要がないので利用したことがない	55.2
不明・無回答	31.1
合計	100.0
n	540

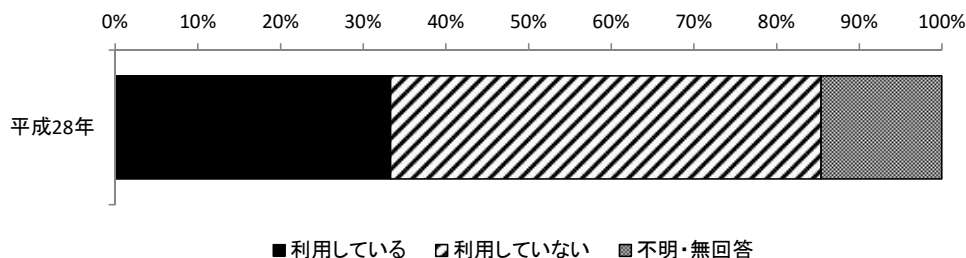


介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が33.3%、「利用していない」が52.0%となっている。

問22 介護保険サービスの利用の有無

（単位：％）

	平成28年
利用している	33.3
利用していない	52.0
不明・無回答	14.6
合計	100.0
n	540

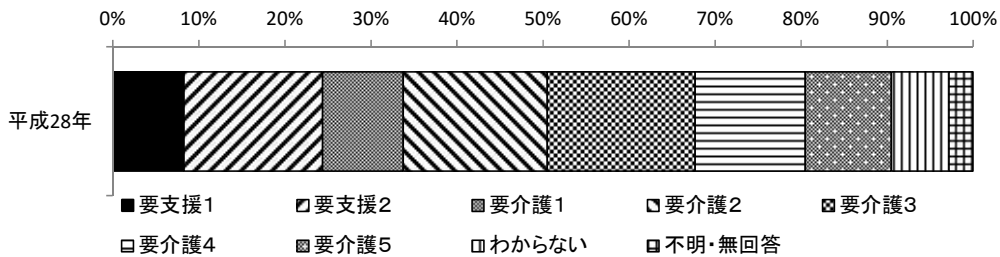


要介護認定区分は、「要介護3」が17.2%で最も多く、次いで「要介護2」が16.7%、「要支援2」が16.1%となっている。

問23-1 要介護認定区分

(単位：%)

	平成28年
要支援1	8.3
要支援2	16.1
要介護1	9.4
要介護2	16.7
要介護3	17.2
要介護4	12.8
要介護5	10.0
わからない	6.7
不明・無回答	2.8
合計	100.0
n	180

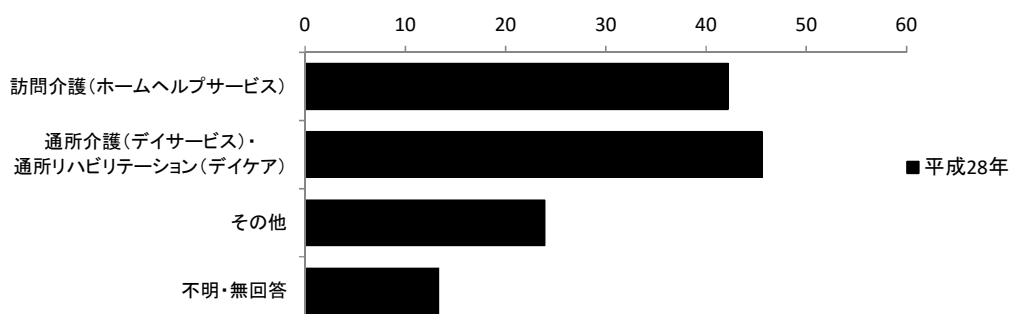


利用している介護保険サービスについては、「通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）」が45.6%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が42.2%、「その他」が23.9%となっている。

問23-2 利用している介護保険サービス（複数回答）

(単位：%)

	平成28年
訪問介護（ホームヘルプサービス）	42.2
通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）	45.6
その他	23.9
不明・無回答	13.3
合計	125.0
n	180



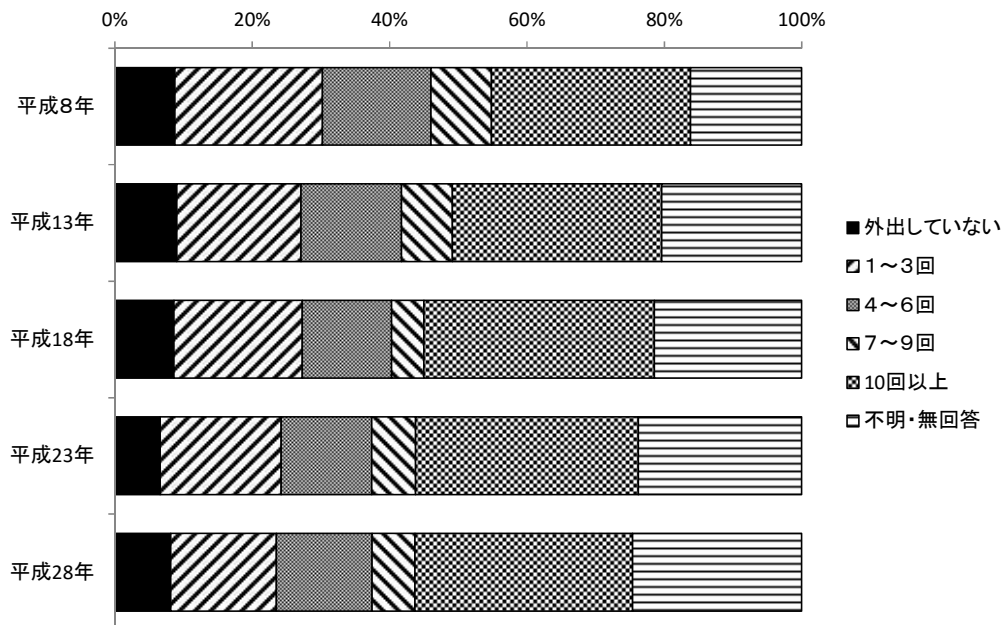
●外出の状況

外出回数（仕事・通学以外の場合）については、「月に10回以上」が31.7%で最も多く、次いで、「月に1～3回」が15.4%、「月に4～6回」が13.9%となっている。

問24（2） 仕事・通学以外の場合の外出回数

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
外出していない	8.7	9.0	8.6	6.6	8.1
1～3回	21.5	18.1	18.7	17.6	15.4
4～6回	15.8	14.6	13.0	13.2	13.9
7～9回	8.8	7.4	4.7	6.4	6.3
10回以上	29.0	30.5	33.6	32.5	31.7
不明・無回答	16.2	20.4	21.5	23.8	24.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540



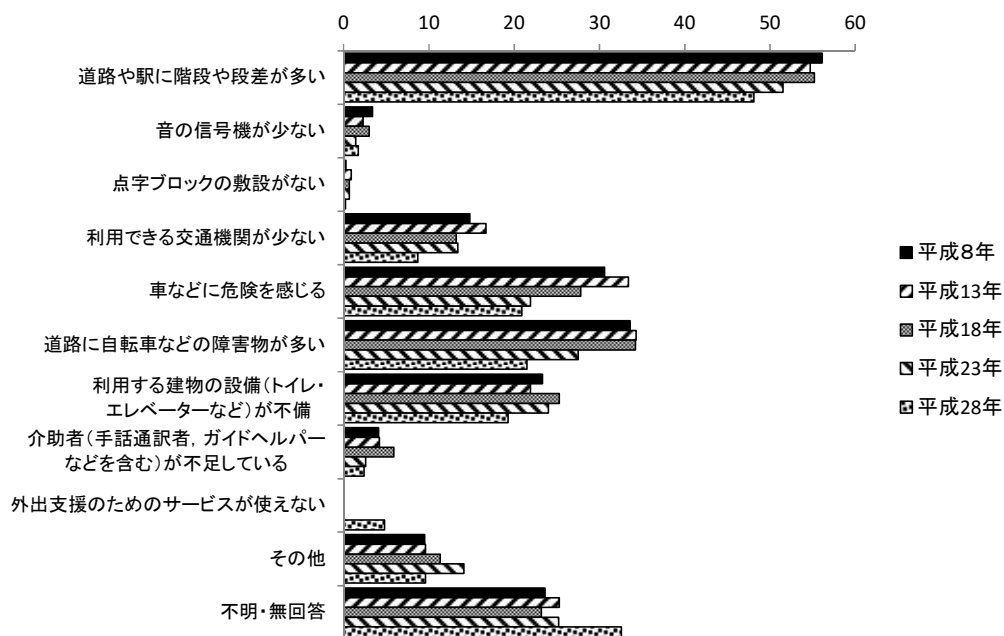
外出の際の問題点（複数回答）については、「道路や駅に階段や段差が多い」が48.1%で最も多く、次いで「道路に自転車などの障害物が多い」が21.5%、「車などに危険を感じる」が20.9%、「利用する建物の設備（トイレ・エレベーターなど）が不備」が19.3%などと続いている。

問26 外出の際の問題点（複数回答3つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
道路や駅に階段や段差が多い	56.1	54.7	55.2	51.5	48.1
音の信号機が少ない	3.4	2.3	3.0	1.4	1.7
点字ブロックの敷設がない	0.3	0.9	0.7	0.7	0.2
利用できる交通機関が少ない	14.8	16.7	13.2	13.4	8.7
車などに危険を感じる	30.6	33.4	27.8	21.9	20.9
道路に自転車などの障害物が多い	33.6	34.3	34.2	27.5	21.5
利用する建物の設備（トイレ・エレベーターなど）が不備	23.3	21.9	25.3	24.0	19.3
介助者（手話通訳者、ガイドヘルパーなどを含む）が不足している	4.1	4.2	5.9	2.6	2.4
外出支援のためのサービスが使えない*	-	-	-	-	4.8
その他	9.5	9.6	11.3	14.1	9.6
不明・無回答	23.6	25.3	23.2	25.2	32.6
合計	199.3	203.3	199.7	182.3	169.8
n	996	951	879	425	540

* 平成28年追加項目



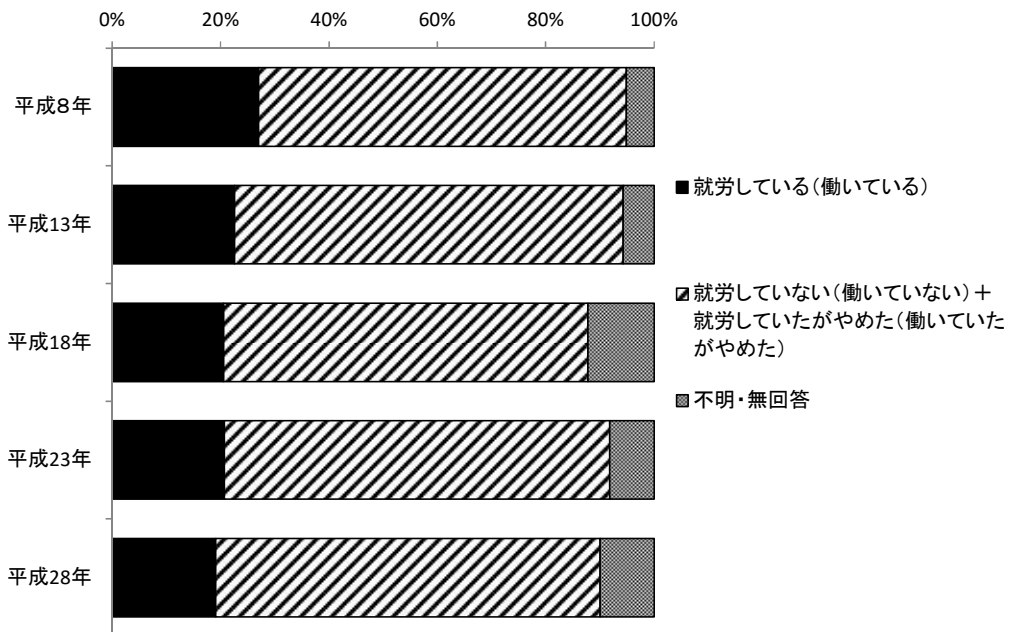
●就労（仕事）・収入の状況

就労状況については、「就労している」が19.1%、「就労していない（就労していない+就労していたがやめた）」が70.9%となっている。

問28 就労状況

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
就労している（働いている）	27.0	22.6	20.6	20.7	19.1
就労していない（働いていない）	67.9	71.7	61.5	64.5	63.9
就労していたがやめた （働いていたがやめた）			5.7	6.6	7.0
不明・無回答	5.1	5.7	12.2	8.2	10.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540



就労している人の就労形態については、「常勤」が35.0%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が28.2%、自営が20.4%となっている。

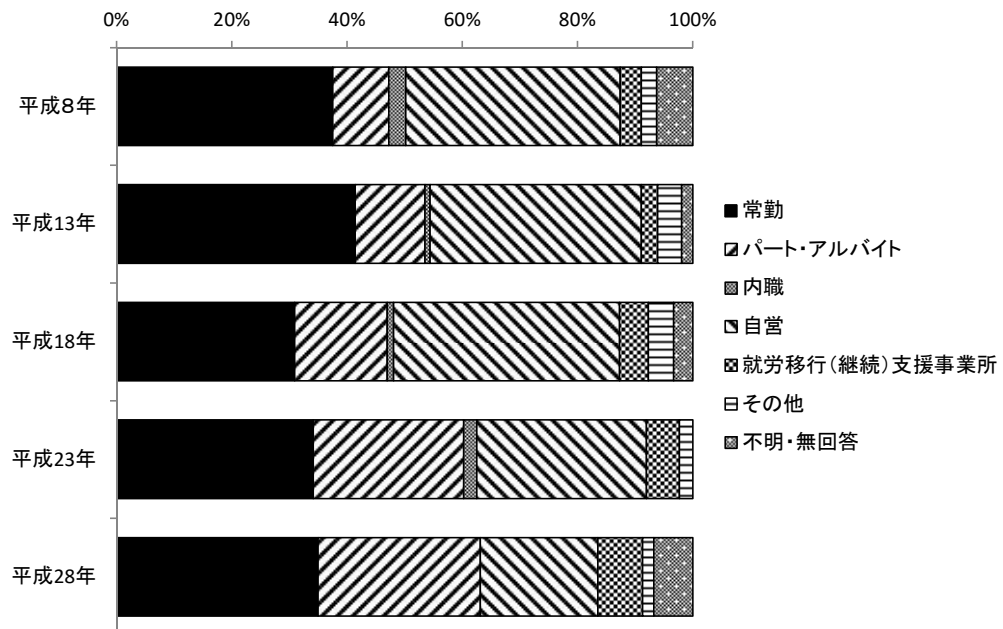
問29-3 就労形態

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
常勤	37.5	41.4	30.9	34.1	35.0
パート・アルバイト	9.7	12.1	16.0	26.1	28.2
内職	3.0	0.9	1.1	2.3	0.0
自営	37.2	36.7	39.2	29.5	20.4
就労移行(継続)支援事業所*	3.7	2.8	5.0	5.7	7.8
その他	2.6	4.2	4.4	2.3	1.9
不明・無回答	6.3	1.9	3.3	0.0	6.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	269	215	181	88	103

* 平成8年、平成13年は「授産施設・共同作業所など」

平成23年は「就労移行(継続)支援事業所、授産施設、共同作業所など」

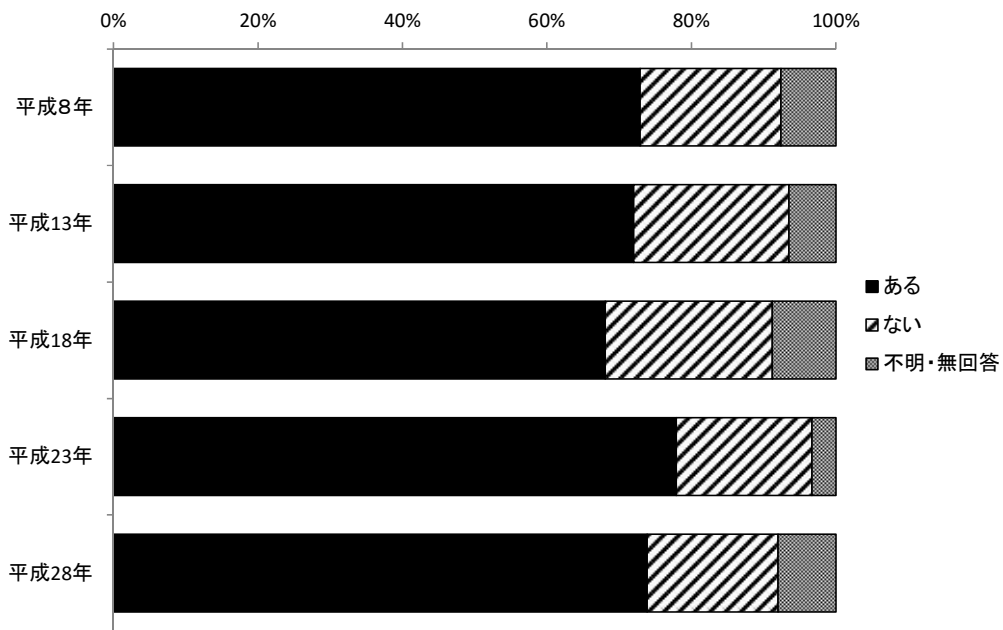


収入の有無では、「ある」が73.9%、「ない」が18.1%となっている。

問3 2 収入の有無

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
ある	72.9	72.0	68.1	77.9	73.9
ない	19.5	21.5	23.1	18.8	18.1
不明・無回答	7.6	6.5	8.8	3.3	8.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540

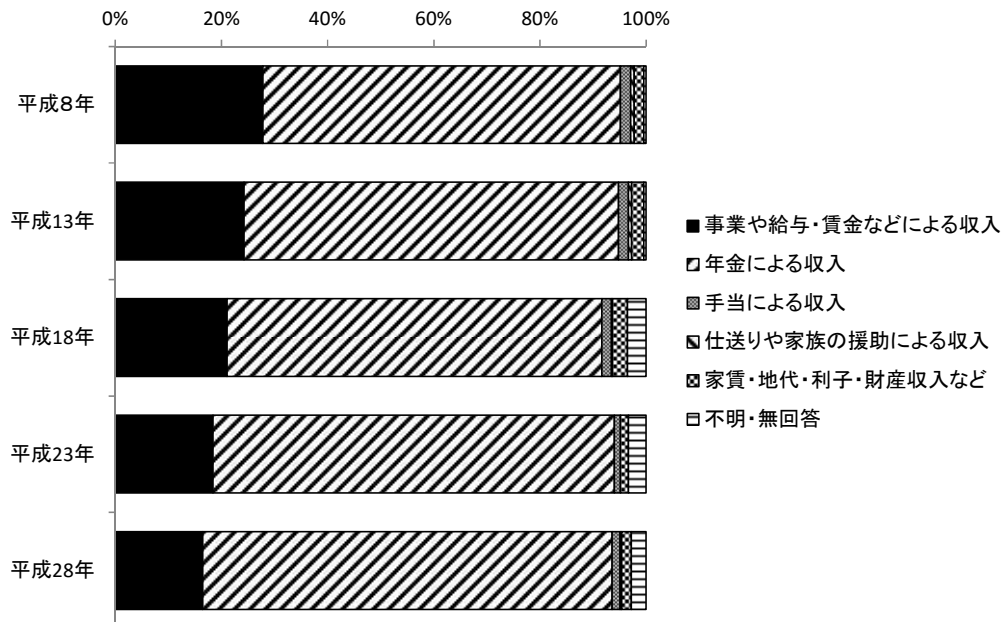


収入の種類では、「年金による収入」が77.2%で最も多く、次いで「事業や給与・賃金などによる収入」が16.5%となっている。

問33-1 収入の種類

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
事業や給与・賃金などによる収入	27.8	24.2	21.0	18.4	16.5
年金による収入	67.4	70.5	70.6	75.5	77.2
手当による収入	1.9	1.9	1.8	1.2	1.5
仕送りや家族の援助による収入	0.7	0.6	0.2	0.0	0.3
家賃・地代・利子・財産収入など	1.8	2.3	2.8	1.5	1.8
不明・無回答	0.4	0.4	3.5	3.3	2.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	729	685	599	331	399

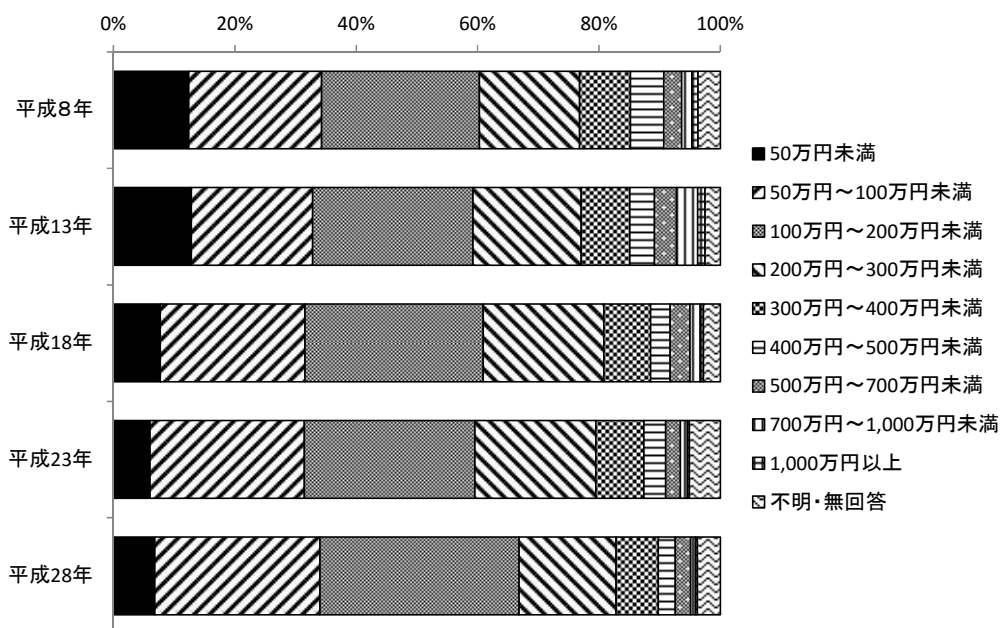


収入の額では、「100万円～200万円未満」が32.8%で最も多く、次いで「50万円～100万円未満」が27.3%などとなっており、「200万円未満」が66.9%と約7割を占めている。

問33-2 収入額

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
50万円未満	12.4	12.8	7.7	6.0	6.8
50万円～100万円未満	21.9	20.0	23.9	25.4	27.3
100万円～200万円未満	26.0	26.4	29.4	28.1	32.8
200万円～300万円未満	16.5	17.8	19.9	19.9	16.0
300万円～400万円未満	8.4	8.0	7.7	7.9	7.0
400万円～500万円未満	5.5	4.1	3.2	3.6	2.8
500万円～700万円未満	2.9	3.6	3.3	2.4	2.5
700万円～1,000万円未満	1.7	3.5	1.7	1.2	0.8
1,000万円以上	1.0	1.2	0.5	0.3	0.3
不明・無回答	3.7	2.5	2.8	5.1	3.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	726	685	599	331	399



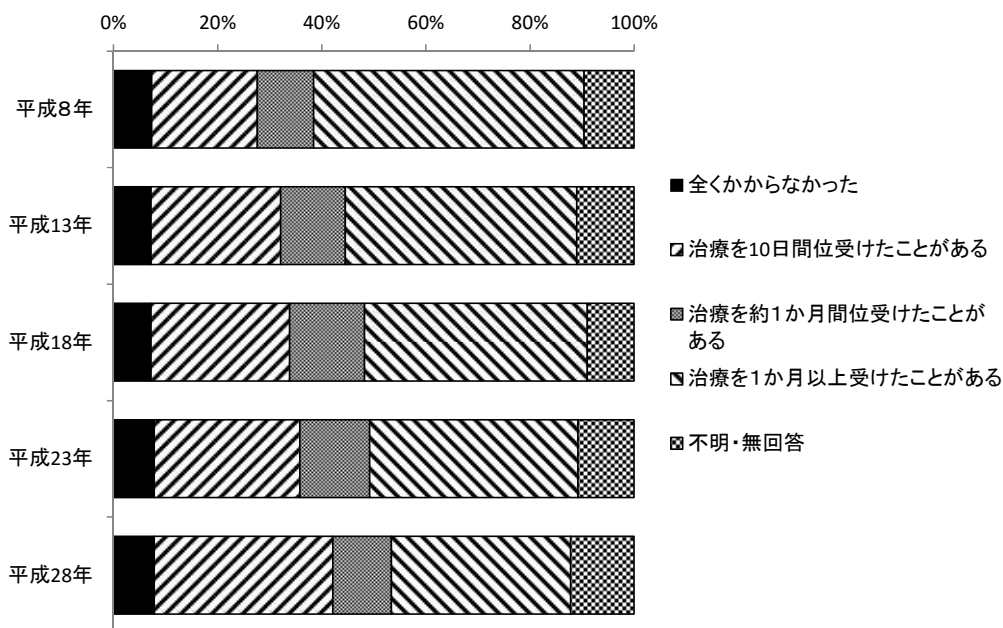
●健康・医療などの状況

過去1年間の治療状況については、「治療を1か月以上受けたことがある」が34.4%で最も多く、次いで「治療を10日間位受けたことがある」が34.3%などとなっている。“治療を受けた”人の合計は、80.0%となっている。

問35 過去1年間の治療の状況

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
全くかからなかった	7.3	7.2	7.2	7.8	7.8
治療を10日間位受けたことがある	20.3	24.9	26.6	28.0	34.3
治療を約1か月間位受けたことがある	10.8	12.4	14.4	13.4	11.3
治療を1か月以上受けたことがある	51.9	44.5	42.8	40.0	34.4
不明・無回答	9.6	11.0	9.0	10.8	12.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540



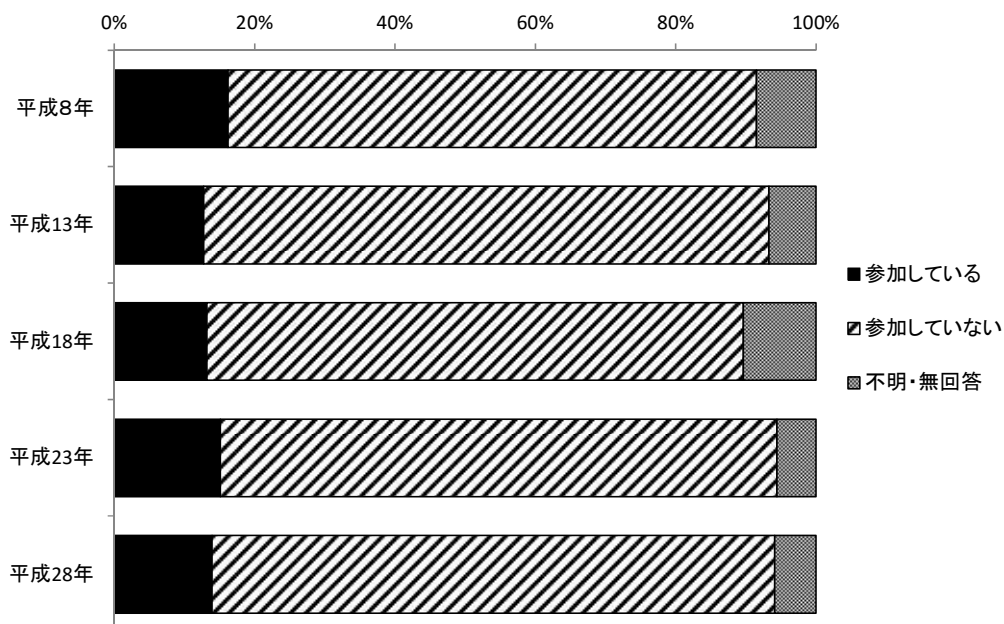
●社会参加の状況

スポーツや文化活動などの社会活動に「参加している」人は13.9%で、一方、「参加していない」人は80.2%となっている。

問38 スポーツや文化活動など社会活動参加状況

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
参加している	16.2	12.7	13.2	15.1	13.9
参加していない	75.3	80.5	76.5	79.3	80.2
不明・無回答	8.5	6.7	10.4	5.6	5.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540



参加していない理由（複数回答）については、「年をとったため」が50.8%で最も多く、次いで「病気のため」が39.5%、「外出が困難だから」が24.7%となっている。

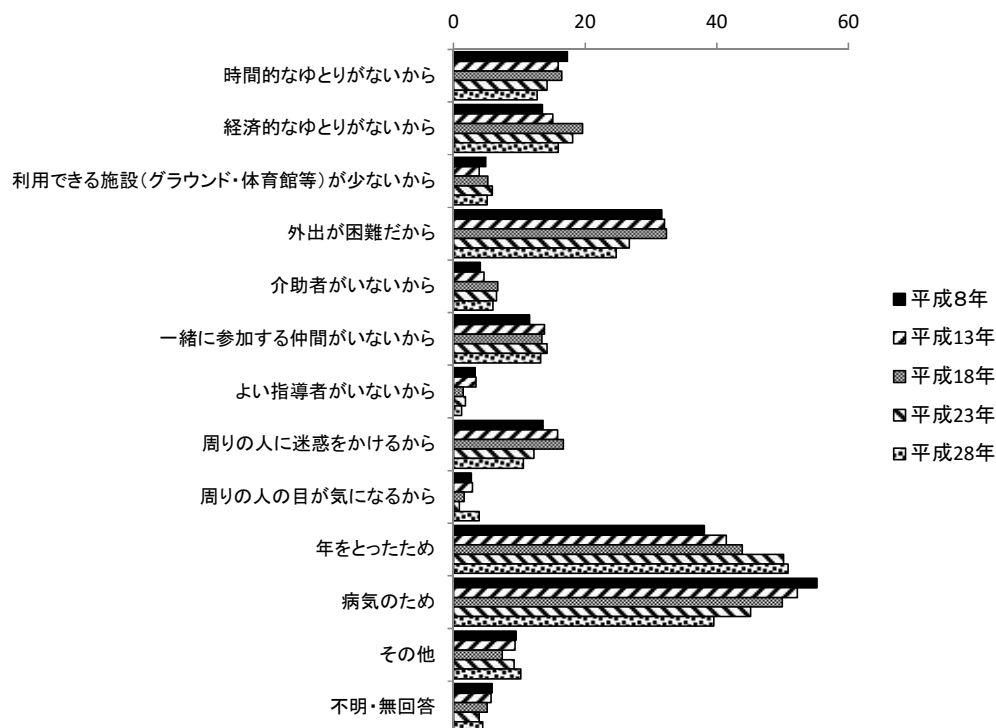
問40-1 社会活動に参加していない理由(複数回答3つまで)

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
時間的なゆとりがないから	17.3	15.9	16.4	14.2	12.7
経済的なゆとりがないから	13.5	15.1	19.6	18.1	15.9
利用できる施設(グラウンド・体育館等)が少ないから	4.9	3.9	5.2	5.9	5.1
外出が困難だから	31.6	32.0	32.3	26.7	24.7
介助者がいないから *1	4.1	4.6	6.7	6.5	6.0
一緒に参加する仲間がいないから	11.6	13.8	13.4	14.2	13.2
よい指導者がいないから *2	3.3	3.4	1.5	1.8	1.2
周りの人に迷惑をかけるから	13.6	15.8	16.7	12.2	10.6
周りの人の目が気になるから	2.7	2.9	1.6	0.9	3.9
年をとったため	38.1	41.4	43.8	50.1	50.8
病気のため	55.2	52.2	49.9	45.1	39.5
その他	9.5	9.3	7.4	9.2	10.2
不明・無回答	5.9	5.7	5.1	3.9	4.4
合計	211.3	216.0	219.6	208.8	198.2
n	750	766	672	337	433

*1 平成8年、13年は「介助者が得にくい」

*2 平成8年、13年は「適切な指導者がいない」



●災害時の対応

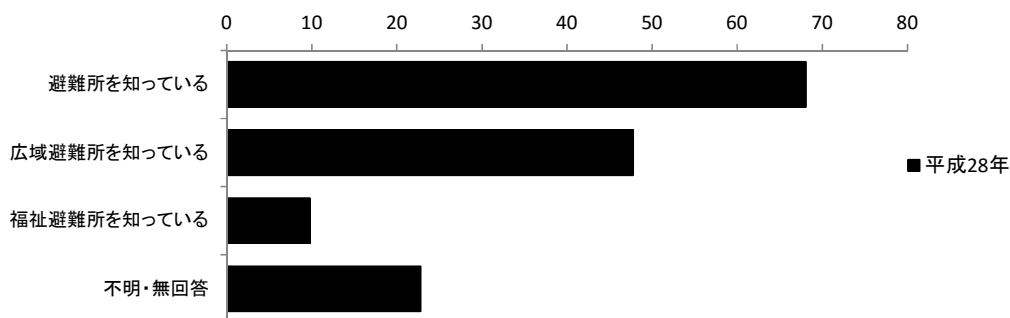
避難場所の認知（複数回答）については、「避難所を知っている」が68.1%、「広域避難所を知っている」が47.8%、「福祉避難所を知っている」が9.8%である。

問 4 2 避難場所の認知（複数回答）*

（単位：％）

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
「一時避難場所」と「広域避難場所」の両方を知っている	30.2	31.4	35.5	39.8	-
「一時避難場所」だけ知っている	15.1	16.4	15.8	19.8	-
「広域避難場所」だけ知っている	15.9	13.4	13.4	7.5	-
両方とも知らない	30.7	32.2	29.5	26.6	-
避難所を知っている	-	-	-	-	68.1
広域避難所を知っている	-	-	-	-	47.8
福祉避難所を知っている	-	-	-	-	9.8
不明・無回答	8.1	6.6	5.8	6.4	22.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	138.7
n	996	951	879	425	540

* 平成23年度までは単数回答

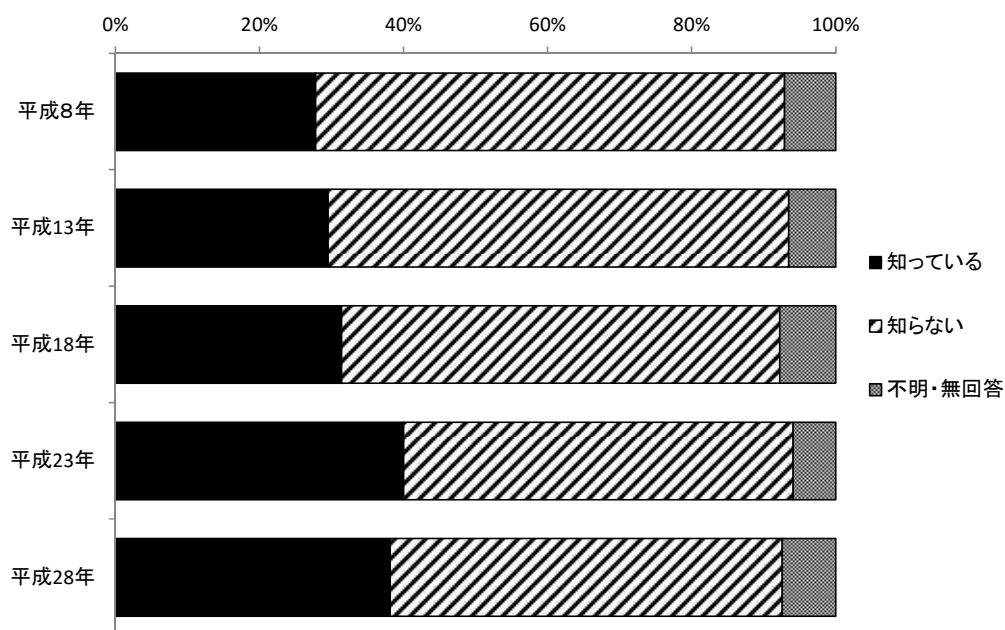


自主防災組織の認知については、「知っている」が38.1%、「知らない」が54.4%となっている。

問 4 4 自主防災組織の認知

(単位：%)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
知っている	27.8	29.5	31.4	40.0	38.1
知らない	65.1	63.9	60.8	54.1	54.4
不明・無回答	7.1	6.5	7.8	5.9	7.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	996	951	879	425	540

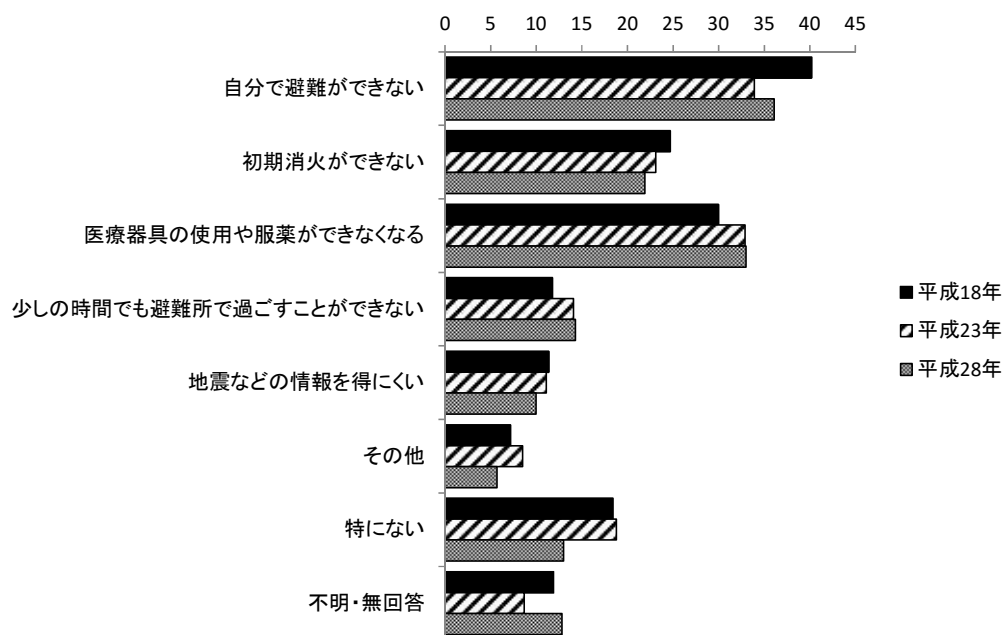


災害時の不安（複数回答）については、「自分で避難ができない」が36.1%で最も多く、次いで「医療器具の使用や服薬ができなくなる」が33.0%、「初期消火ができない」が21.9%などと続いている。

問 4 8 災害時の不安（複数回答 2 つまで）

（単位：％）

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
自分で避難ができない	40.2	33.9	36.1
初期消火ができない	24.7	23.1	21.9
医療器具の使用や服薬ができなくなる	30.0	32.9	33.0
少しの時間でも避難所で過ごすことができない	11.8	14.1	14.3
地震などの情報を得にくい	11.4	11.1	10.0
その他	7.2	8.5	5.7
特にない	18.4	18.8	13.0
不明・無回答	11.9	8.7	12.8
合計	155.6	151.1	146.8
n	879	425	540



●福祉施策への要望など

福祉施策への要望（複数回答）については、「サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当の増額など所得保障を充実してほしい」が46.5%、「医療費の軽減など、受診しやすいようにしてほしい」が30.6%、「道路・公園などの公共施設、建物、乗りもの（ノンステップバスなど）を障害のある人が利用しやすいように整備を進めてほしい」が23.1%、「障害者医療をはじめとした医療制度の拡充を図ってほしい」が20.0%である。

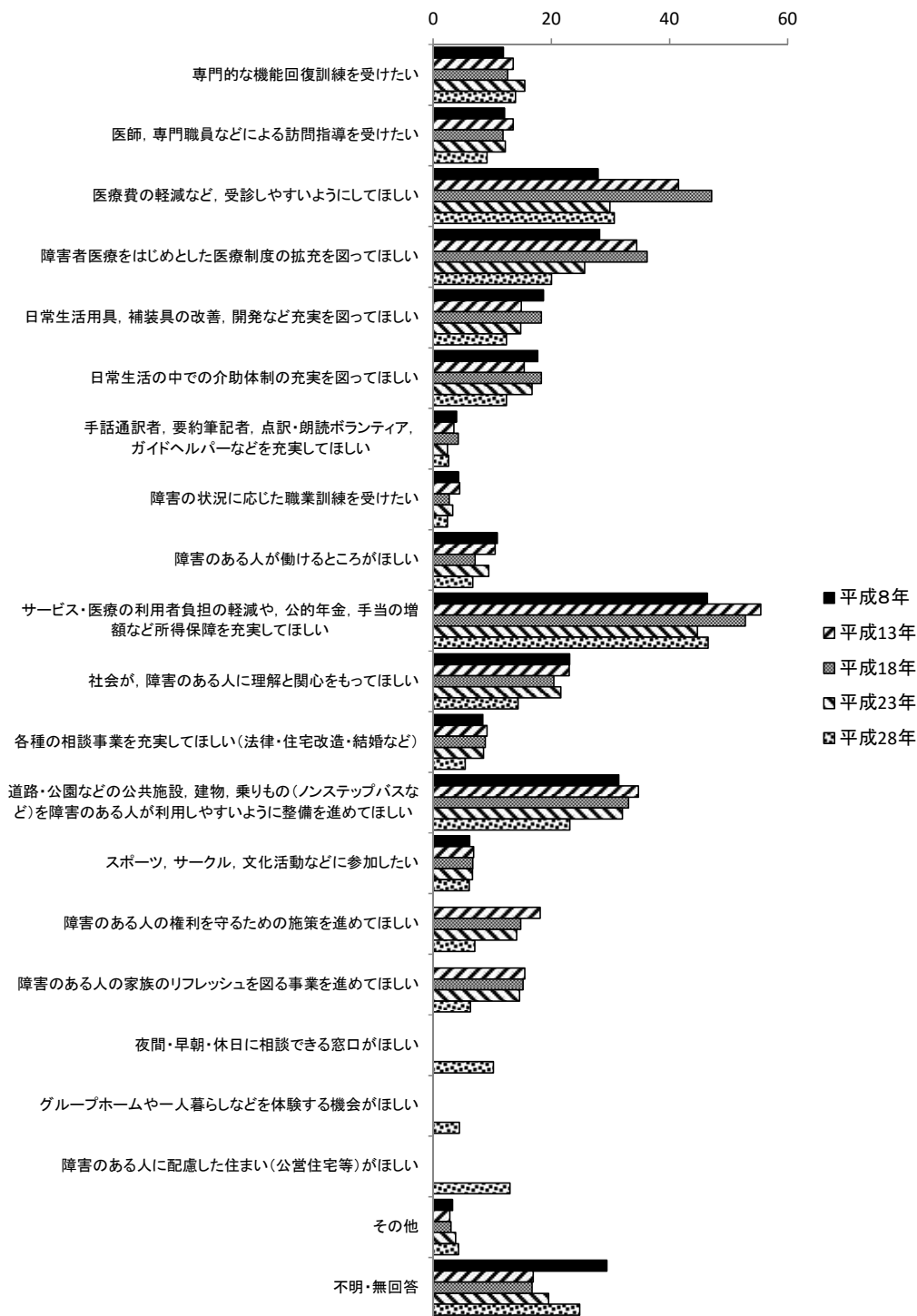
問55 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
専門的な機能回復訓練を受けたい	11.9	13.5	12.6	15.5	13.9
医師、専門職員などによる訪問指導を受けたい	12.1	13.5	11.8	12.2	9.1
医療費の軽減など、受診しやすいようにしてほしい	27.9	41.5	47.1	29.9	30.6
障害者医療をはじめとした医療制度の拡充を図ってほしい	28.2	34.4	36.2	25.6	20.0
日常生活用具、補装具の改善、開発など充実を図ってほしい	18.7	14.9	18.3	14.8	12.4
日常生活の中での介助体制の充実を図ってほしい	17.7	15.4	18.3	16.7	12.4
手話通訳者、要約筆記者、点訳・朗読ボランティア、ガイドヘルパーなどを充実してほしい	4.0	3.5	4.2	2.4	2.6
障害の状況に応じた職業訓練を受けたい	4.3	4.5	2.7	3.3	2.4
障害のある人が働けるところがほしい	10.9	10.5	7.1	9.4	6.7
サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当の増額など所得保障を充実してほしい	46.4	55.4	52.8	44.7	46.5
社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい	23.1	23.0	20.4	21.6	14.4
各種の相談事業を充実してほしい（法律・住宅改造・結婚など）	8.4	9.1	8.8	8.5	5.4
道路・公園などの公共施設、建物、乗りもの（ノンステップバスなど）を障害のある人が利用しやすいように整備を進めてほしい	31.4	34.7	33.0	32.0	23.1
スポーツ、サークル、文化活動などに参加したい	6.2	6.8	6.7	6.6	6.1
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい*1	-	18.1	14.8	14.1	7.0
障害のある人の家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい*1	-	15.5	15.2	14.6	6.3
夜間・早朝・休日に相談できる窓口がほしい*2	-	-	-	-	10.2
グループホームや一人暮らしなどを体験する機会がほしい*2	-	-	-	-	4.4
障害のある人に配慮した住まい（公営住宅等）がほしい*2	-	-	-	-	13.0
その他	3.3	2.8	3.0	3.8	4.3
不明・無回答	29.4	16.9	16.7	19.5	24.8
合計	259.9	334.0	329.7	295.2	275.6
n	996	951	879	425	540

*1 平成13年追加項目

*2 平成28年追加項目



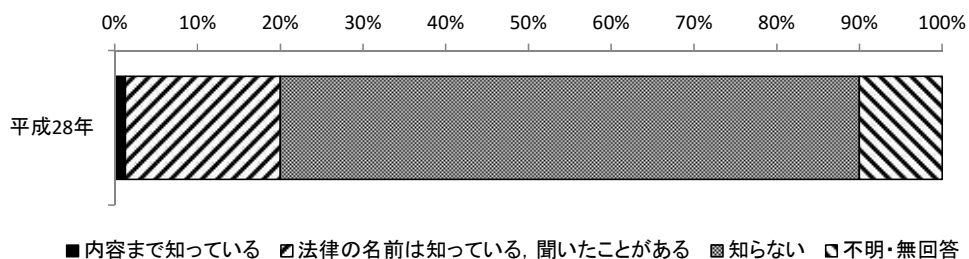
●障害者差別解消法の認知

障害者差別解消法の認知については、「知らない」が70.0%で最も多く、次いで「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が18.7%、「内容まで知っている」が1.3%となっている。

問56 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	平成28年
内容まで知っている	1.3
法律の名前は知っている、聞いたことがある	18.7
知らない	70.0
不明・無回答	10.0
合計	100.0
n	540



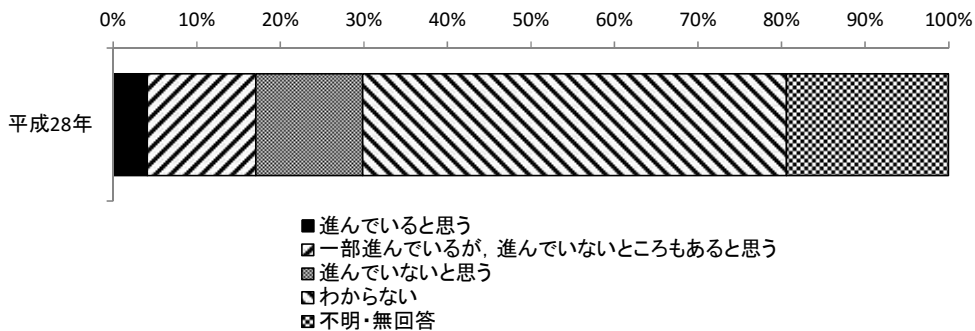
●「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については、「わからない」が50.7%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が13.0%、「進んでいないと思う」が12.8%、「進んでいると思う」が4.1%となっている。

問57-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	4.1
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	13.0
進んでいないと思う	12.8
わからない	50.7
不明・無回答	19.4
合計	100.0
n	540

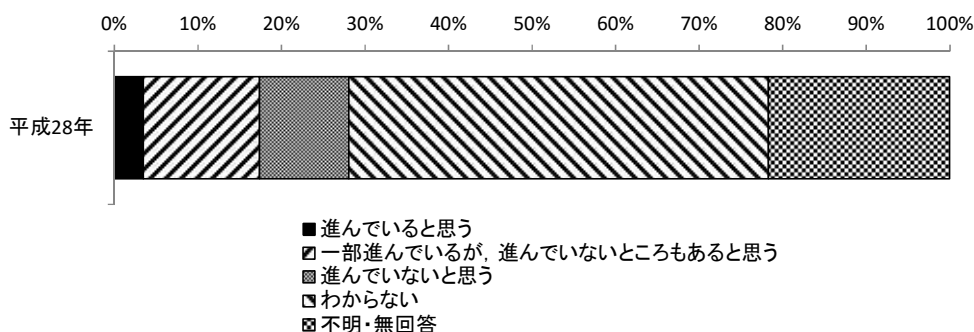


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「わからない」が50.2%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が13.9%、「進んでいないと思う」が10.7%、「進んでいると思う」が3.5%となっている。

問57-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.5
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	13.9
進んでいないと思う	10.7
わからない	50.2
不明・無回答	21.7
合計	100.0
n	540

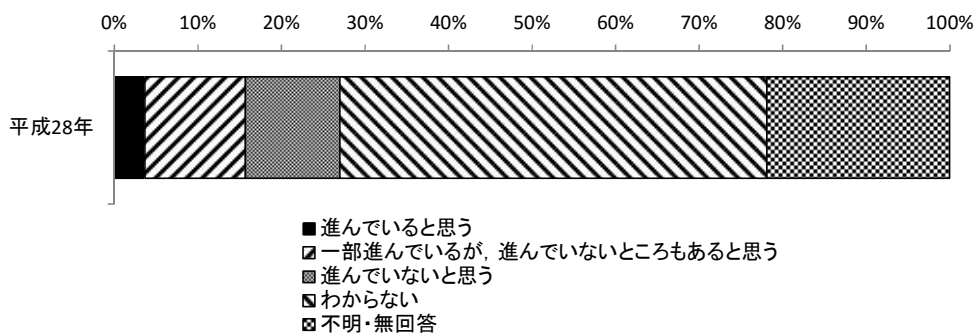


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「わからない」が51.1%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が12.0%、「進んでいないと思う」が11.3%、「進んでいると思う」が3.7%となっている。

問57-3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.7
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	12.0
進んでいないと思う	11.3
わからない	51.1
不明・無回答	21.9
合計	100.0
n	540

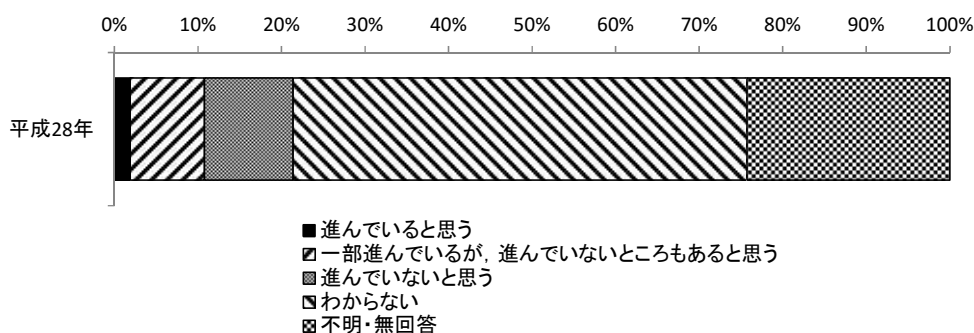


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が54.4%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が10.6%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が8.9%、「進んでいると思う」が1.9%となっている。

問57-4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.9
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	8.9
進んでいないと思う	10.6
わからない	54.4
不明・無回答	24.3
合計	100.0
n	540

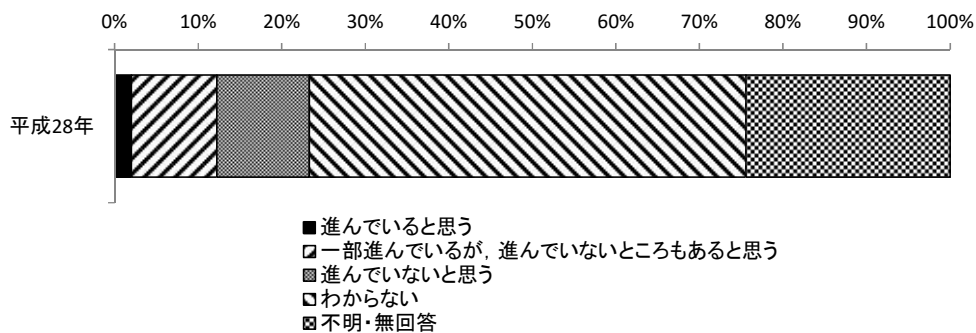


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が52.2%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が11.1%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が10.2%、「進んでいると思う」が2.0%となっている。

問57-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	2.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	10.2
進んでいないと思う	11.1
わからない	52.2
不明・無回答	24.4
合計	100.0
n	540



人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「わからない」が39.4%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が16.9%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が15.4%、「進んでいると思う」が4.3%となっている。

問57-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	4.3
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	15.4
進んでいないと思う	16.9
わからない	39.4
不明・無回答	24.1
合計	100.0
n	540

